



①②③「おかやま介護の日2016」(特集) ④「じ・ば・子のおうち」(現場からの発信) ⑤⑥「ねんりんピック長崎2016」(県社協ニュース)

岡山県社会福祉 12

特集 福祉人材確保に向けた取り組み
 ～岡山県福祉人材センターと
 岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会の活動報告～

p2

p5 赤い羽根共同募金
 歳末たすけあい運動／「地域ささえあいプロジェクト」

p6 県社協ニュース
 熊本地震の支援に学ぶ／「地域包括ケアわくわくフォーラム」を開催
 新たな貸付事業がスタートします！
 岡山県社会福祉協議会会長表彰・感謝 受賞者
 平成28年度 岡山県総合社会福祉大会 開催報告
 第29回 全国健康福祉祭「ながさき大会」開催報告 他

p10 現場からの発信
 じいちゃん・ばあちゃん・子どもたち
 みんなの居場所
 ～「じ・ば・子のおうち」～

p12 「ふくし」の仕事人たち
 SELP商品のご紹介



社会福祉法人 **岡山県社会福祉協議会**
 URL : <http://www.fukushiokayama.or.jp>
 Facebook : <https://facebook.com/fukushiokayama/>

この機関紙は、共同募金の配分金によって発行しています。



福祉人材確保に向けた取り組み

岡山県福祉人材センターと岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会の活動報告

少子高齢化が進む中で、団塊世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年には、厚生労働省の推計で37・7万人の介護人材が不足すると見込まれています。さらに、国の政策課題として「ニッポン一億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)の推進が示され、保育人材・介護人材の確保対策について、国全体として平成29年度末までに新たに保育人材を約9万人、2020年代初頭までに介護人材を新たに約25万人確保するとされています。

今号の特集では、福祉人材確保が喫緊の課題となる中で、岡山県の指定を受けて、岡山県社会福祉協議会に設置している福祉職専門の無料職業紹介所である岡山県福祉人材センターと、昨年6月に設立した岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会の連携による福祉人材確保に向けた取り組みをご紹介します。

岡山県の福祉人材をめぐる状況

岡山県における介護人材は、県の試算によると2025年までに約6,000人が不足するとされています。また、保育分野では、平成28年4月時点で岡山県内の待機児童が875名と集計されており、待機児童解消に向けた保育の受け皿確保が進められています。

一方で、生産年齢人口の減少や他業種への人材流出の影響等によ

り、岡山県福祉人材センター(以下、「人材センター」という。)の求職登録者が減り、7月に岡山市で開催した福祉の合同就職フェアの来場者数も昨年度を下回っています。

そうした中、オール岡山で福祉人材確保に対応するため、昨年6月に種別協議会、職能団体、養成校、教育委員会、労働局・ハローワーク、介護労働安定センター、行政、人材センターで構成された岡山県福祉・介護人材確保対策推

進協議会(以下、「協議会」という。)が立ち上がりました。

協議会で最初に取り組んだのは、各団体が行っている事業の掘り起こしです。事業を①情報提供・普及啓発、②人材確保・支援、③人材育成・定着の3分野に分けて集計したところ、①は15事業、②は23事業、③は28事業存在することが判明しました。その上で、協議会の中に「情報提供・普及啓発部会」、「人材確保・支援部会」、「人材育成・定着部会」の3部会を構

成し、課題や必要な対策に取り組むこととなりました。

若年層をターゲットにした広報戦略

「情報提供・普及啓発部会」において、2025年を見据えた介護人材の確保を考えたとき、まず挙げられたのが将来の担い手確保の必要性です。

そこで、福祉の仕事が、若い世代から将来の選択肢の一つとして



特浴体験の様子

選ばれるための事業として、「福祉の職場見学・体験ツアー」に人材センターが取り組むこととなりました。

小学4年生から中学生を対象として、夏休みに親子で高齢分野・障害分野の福祉施設1ヶ所ずつをバスで回りました。現地では施設の仕事を体験を取り入れ、施設を身近な職場として感じてもらえるように工夫しました。

参加者にはエプロンや職員からお借りしたユニフォームを身につけてもらい、配膳作業やベッドメイキング、利用者とのレクリエー

ション等に從事してもらいました。数年後、子どもたちが進学や就職を考えるとき、このツアーをきっかけとして、福祉の仕事を選んで頂けるよう、今後も内容の充実を図ってまいります。

中高年層へのアプローチ

「人材確保・支援部会」において、人材の掘り起し先として着目したのが、中高年層者の潜在的な労働力です。

そこで、協議会として11月30日（水）に岡山市において、「シニア向け福祉職場就職セミナー」（対象は50代以上）を開催しました。

中高年層を対象として、短時間勤務の求人募集を扱った他、一般的な福祉施設との就職面談に加えて、セミナーに関心を持っていただくために、ヘルパー経験のある落語家さんの講演会を取り入れました。また、開催日を年金の日である11月30日に設定し、県内年金事務所の協力のもと、中高年層に関心の高い年金相談コーナーも設置しました。

初めて実施した今回のセミナー

では、より多くの中高年層に伝わる広報手段のあり方が課題として残りましたが、中高年層に福祉職場で働くことへの関心をもつていただける良い機会となりました。

定着支援に向けて情報共有

「人材育成・定着部会」では、資質向上や定着率を上げるための取り組みが話し合われました。

その中で、各団体が実施している研修事業等の情報が、お互い共有されていないことが課題としてあがってきました。

研修の中には、他団体会員にとっても資質向上が期待できる研修もあり、他団体も参加可能な研修を選別し、情報共有できるように調整が図られました。

研修機会を増やし、キャリアア

ップをイメージし易くすることで、定着率が向上するよう期待しています。

人材センターと種別協議会との連携によるイメージアップ戦略

介護人材確保に向けた対策として、介護業界のイメージアップが重要とされています。

そこで、数年前から協議会加入団体である岡山県老人福祉施設協議会と連携し、「11月11日（いい日いい日）介護の日」にちなんだイベントに取り組んでいます。

「介護の日2016」報告

福祉・介護分野で従事する人材の確保が課題となっている中、福祉・介護サービスの仕事に、「感謝」「感動」「感激」を伴った働きがいのある、魅力のある職業だということをPRするイベントを、11月5日（土）にイオンモール岡山のおかやま未来ホールで開催しました。

昨年度に引き続き開催された「第2回カイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクト」では、事前審



若手職員本音トークの様子

査を通過した、介護現場で「喜び」「やりがい」「熱心さ」を持って働いている14名のカイゴ男子・カイゴ女子がグランプリを目指して仕事やプライベートの様子をアピールしました。エレキギターや消防団のポンプ操作など様々な趣味・特技をもった出場者の実演も大変見ごたえがありました。「今日だけ聞ける若手職員本音トーク」では、エントリーされている14名と昨年度のグランプリ・準グランプリの3名に、実際に働いて感じている正直な胸の内について語っていただきました。



グランプリ・準グランプリの皆さん

大鼓 裕宇輝さん
 介護老人福祉施設恵風荘
《グランプリ》
 特別養護老人ホームおもいやり
 金田 真歩さん
《準グランプリ》
 特別養護老人ホームのどか
 角田 邦明さん
 デイサービスセンターサンライズ
 河野 あずささん

これらの様子を踏まえ、当日イベントに参加いただいた約400名にも一票投じてもらい、第2回カイゴ男子・カイゴ女子のグランプリ・準グランプリが決定しました。



ふれあいトークショーの様子

グランプリ・準グランプリに輝いたカイゴ男子・カイゴ女子には、12月18日(日)岡山ロイヤルホテル(岡山市北区絵図町)で開催される「福祉の就職総合フェア冬」において介護の魅力と感動のアピールを行っていただく他に、写真集の発行等が予定されています。また、ふれあいトークショーのゲストには、声優の野沢雅子さんをお迎えして、これから夢に向かってチャレンジしていく若者に向けて、今までの経験をもとにお話いただきました。トークショーの中では、野沢さんから介護職員へ

の応援メッセージ、サイン色紙プレゼントの抽選会もあり、会場は大いに盛り上がりました。

今後の取り組み

求職者や若者に、福祉人材確保に関する有益な情報を伝え、関心をもってもらいたくため、協議会のホームページの作成に取り組んでいます。

このホームページでは、各団体が行う人材確保に関する情報を一元的に掲載し、求職者が就職活動をしやすい環境を整えていきます。また、現場職員のメッセージや、福祉関係の養成校への進学を考える若者へ向けた情報も掲載していきます。ホームページ開設は、今年度末を予定していますので、もうしばらくお待ちください。今後、福祉人材センターと協議会加入団体が連携して福祉人材確保に尽力してまいります。

【問い合わせ先】

岡山県福祉人材センター

TEL 086-226-3507

赤い羽根共同募金



岡山県共同募金会



今年も12月1日から歳末たすけあい運動を実施しています！

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことが出来るように、全国一斉に歳末たすけあい運動を実施しています。

今年も皆さまの温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

地域歳末たすけあい 12月1日(木)～12月31日(土)

NHK 歳末たすけあい 12月1日(木)～12月25日(日)



赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」を実施します！

このプロジェクトは、地域の様々な社会課題の解決に取り組んでいるNPO法人等と協働して、その活動に必要な資金を募集するものです。集まった募金は、寄付をされた方が指定した団体の活動費として、本会を通じて助成されます。

募金の募集期間は、平成29年1月1日～平成29年2月28日までです。

《プロジェクト参加団体(順不同)》

- ・社会福祉法人岡山いのちの電話協会
- ・特定非営利活動法人未来へ
- ・公益社団法人被害者サポートセンターおかやま
- ・認定NPO法人ハーモニーネット未来(旧子ども劇場笠岡センター)
- ・特定非営利活動法人子ども劇場岡山県センター(チャイルドライン)
- ・井原子どもサロンボランティア
- ・特定非営利活動法人岡山・ホームレス支援きずな
- ・子ども支援サークルにっこここ
- ・認定特定非営利活動法人子どもシェルターモモ
- ・(一般社団法人子どもソーシャルワークセンターつばさ)



★詳しくは、岡山県共同募金会までお問い合わせください。

岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ内

TEL: 086-223-0065 FAX: 086-223-0083

“お車の共済の事なら！”

西日本自動車共済協同組合

お見積り、ご相談、無料で承りますので
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927
岡山市北区西古松237-126 松本ビル3F
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵2-15-25
TEL: 092-441-5901

NJ730.1603.0250.999999

●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画-製作

美術工房

シエト

公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)
FAX 086-271-4412

〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13

熊本地震の支援に学ぶ 被災から復興、そして日常へ

平成28年度岡山県災害救
援専門ボランティア研修会
を開催しました。今年、
主に災害時における要配慮者支援
をテーマに、県北・県南と県内2
会場で開催、121名の方にご参
加いただきました。

両会場とも、1日目は、実際に
災害支援の活動に関わったゲスト
の話聞く時間をもちました。県
北では、平成21年に水害によりボ
ランティアセンター（以下VC）
を立ち上げた美作市土居地区の区
長の山本壽さんに当時の話をお伺
いしました。地域の力だけでは、
復興が難しいと判断して地区でV
Cを設置した話は、改めて災害V
Cの原点を省みることができまし
た。県南では、熊本地震で、西原
村の支援に入った岡山大学地域総
合研究センターの山田一隆さんと
一緒にボランティアに参加した学
生さんから、活動報告をしていた
だきました。

2日目は、熊本地震において、
御船町災害ボランティアセンター

二日
班の福
社チー
ムとし
て障が
いのあ
る方の
個別訪
問、避
難所で
の福祉

・介護のケアが必要な方への支援
活動を行った、NPO法人みら
いず（大阪）の岩本恭典さん、若
松周平さん他にお話を伺い、実際
の事例をもとにしたワークショップ
を行いました。

障がいを持たれた高齢者が、自
宅が被災し、倒壊の危険があるに
も関わらず、避難所の生活が厳し
いことから、身の危険を覚悟の上
で暮し続けている事例などをもと
に、VCでできること、地域でで
きることは何なのか、被災者の暮
らしを支えることについて、考え
る時間を持つことができました。



演習時の様子

10月19日（水）、岡山県（中国
ブロック）地域包括・在宅介護支
援センター協議会との共催により、
「地域包括ケアわくわくフォーラ
ム」を開催し、地域包括支援セン
ター、社会福祉協議会、行政機関
職員等、地域福祉の推進に携わる
99名の方に参加していただきました。
今回のテーマは「住民ととも
に創る「地域包括ケアシステム」。



グループワーク時の様子

「地域包括ケアわくわくフォーラム」を 開催しました。

地域内分権による住民自治を進め、
福祉・医療の専門職と、住民自治
組織が協働しながらまちづくり。地域
包括ケアシステムの構築に取り
組んでいる三重県名張市から、
同市子ども福祉部の藤本勇樹氏、
すずらん台ライフサポートクラブ
の大橋健氏、また、同志社大学准
教授・永田祐氏をゲストにお招き
し、専門職主導ではなく、「住民
主体」の地域づくりの実現に向け
て、その必要性や求められる視
点・姿勢について考えました。

参加者からは「自分もその地域
の一員であるという視点を大切に
しながら、地域に出て行きたい」
「もつと地域住民の力を信じたい
と思った」「これからは、福祉や
医療の専門職以外の人・機関とも
つながっていききたい」といった声
が聞かれました。
名張市の取り組みをヒントに、
自分達の地域ではどんな地域包括
ケアシステムを創っていくのか、
参加者それぞれの実践に繋がるこ
とが期待されます。

新たな貸付事業がスタートします!

※各貸付事業の詳細や募集開始時期は、岡山県社協ホームページをご覧ください。

介護福祉士実務者研修受講資金

- 目的：実務者研修施設で介護福祉士の資格取得を目指す学生に修学資金を貸し付け、福祉人材の育成に資すること。
- 貸付対象：実務者研修施設に在学する方
- 貸付額：20万円以内
- 返還免除：実務者研修卒業後、1年以内に介護福祉士登録し、返還免除対象業務に2年間引き続き従事した場合、返還の債務が免除されます。



離職した介護人材の再就職準備資金

- 目的：離職した介護職員等に再就職準備金を貸し付け、福祉・介護人材の確保及び定着に資すること。
- 貸付対象：介護職として一定の知識及び経験を有し、対象施設に再就職する方
※福祉人材センター離職者登録必要
- 貸付額：20万円以内
- 返還免除：介護職員等として、2年間引き続き対象業務に従事した場合、返還の債務が免除されます。



保育士就職準備金

- 目的：潜在保育士の再就職に必要な資金を貸し付け、保育人材の確保を図ること。
- 貸付対象：新たに保育所等に勤務する潜在保育士
- 貸付額：20万円以内
- 返還免除：保育所等において、児童の保護等に2年間引き続き従事した場合、返還の債務が免除されます。



児童養護施設退所者等自立支援資金

- 目的：児童養護施設等入所中又は退所した方、里親等への委託中又は解除された方の円滑な自立を支援すること。
- 貸付対象：児童養護施設等入所中又は退所した方、里親等への委託中又は解除された方で一定の要件を満たす方
- 貸付額：1. 生活支援費：月額5万円以内 2. 家賃支援費：家賃額(上限有)
3. 資格取得支援費：25万円以内
- 返還免除：各貸付種類に設定された特定の要件に該当する場合、返還の債務が免除されます。



ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

- 目的：就職に有利な資格取得を目指すひとり親家庭の親に必要な資金を貸し付け、自立促進を図ること。
- 貸付対象：岡山県内の自治体が実施する「高等職業訓練促進給付金」の受給者
- 貸付額：1. 入学準備金：50万円以内 2. 就職準備金：20万円以内
- 返還免除：取得した資格が必要な業務に5年間引き続き従事した場合、返還の債務が免除されます。



【問い合わせ先】岡山県社会福祉協議会 地域福祉部 生活福祉資金班 TEL：086-226-3544

社会福祉法人の 会計を完全フォロー!

曲
会計監査導入
サポート

- 内部統制の構築のしかたはご存知ですか?
- 業務のみえる化ができていますか?
- 適切な帳表を作成し、経営判断に役立てられていますか?

目
法改正
サポート

- 新理事・評議員はどんな人を選べばいいのか?
- 定款・経理規程はどのように作成するのか?
- 理事会・評議員会はどうやって運営すればいいのか?

思い当たるあなたは今すぐ!

社福経営サポートクラブ

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎会計事務所

0120-747-824

〈受付時間〉9:00~17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>
〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10

私たちに
ご相談
ください!



SCB
社福サポート担当
いしはら

岡山県社会福祉協議会会長表彰・感謝

(敬称略・順不同)

◎民生委員・児童委員功労者(43名)

福島 節子 光岡 嘉子 山田 弘子
 大森 夏江 播野 紀子 福光 光一
 野崎 実 分島 和美 才田 美子
 山崎 久 内田 浩二 飛田野 幸二
 上枝 龍平 相原 孝夫 田邊 芳江
 重野 勉子 畑野 倫男 中桐 裕子
 黒明 賀洋子 姫井 伊津代 大村 庸子
 田付 昌明 青木 さか恵 佐々木 和也
 楠木 裕樹 岡田 直樹 那須 俊吾
 竹田 節世 日下 光世 國西 博榮
 河田 横子 遠藤 良子 稲谷 弘昌
 水田 正子 重利 道広 武田 香
 高木 順子 大石 力 岩崎 文枝
 佐藤 照子 磯田 祐子 藤原 徳子
 松原 三郎

◎社会福祉施設功労者(23名)

畑 典男 (ほっとスペースデイサービスセンター)
 牧野 光雅 (旭川荘)
 穴戸 設 (旭川児童院)
 谷川 奈美 (旭川乳児院)
 安藤 泰司 (旭川児童院)
 河瀬 かおる (かえで寮)
 武本 由子 (ひまわり乳児保育園)
 芳岡 美代 (庄の里)
 湯浅 栄 (鶯園)
 芦谷 徳江 (緑山荘)
 清水 清美 (やよい保育園)
 小西 美千代(バインスクエア)

赤木 和子 (ニュー三楽園)
 佐々井 伸子(第三ひかり保育園)
 川田 幸治 (すみれ保育園)
 樋口 和子 (たいようの丘)
 川上 愛子 (たいようの丘)
 尾崎 芳江 (楡山荘)
 前田 茂美 (真庭市立中和保育園)
 山本 寛 (和気広虫荘)
 新田 正純 (岡谷ワークセンター・わけ)
 杉岡 信江 (吉備高原賀陽荘)
 間庭 浩二 (吉備高原清和荘)

◎社協・団体功労者(13名)

塩見 克也 (岡山市社協)
 上杉 康介 (岡山市社協)
 奥田 林雄 (岡山市社協)
 難波 英夫 (高梁市社協)
 田中 猪三郎(高梁市社協)
 高下 眞由美(高梁市社協)
 富彌 としこ(高梁市社協)

前田 多加子(新見市社協)
 田邊 毅 (里庄町社協)
 福田 美子 (久米南町社協)
 菅野 睦子 (吉備中央町社協)
 岡 智明 (岡山県社協)
 吉田 光臣 (岡山県社協)

◎優良社協・団体(3団体)

石井地区社会福祉協議会
 刑部地域振興協議会
 大田地区ふるさと振興協議会

◎社会福祉協作者(感謝/総受賞者数 18名・団体)

箭田わかさ会
 やよい会
 しあわせの会
 NPO 法人さび電腦倶楽部
 岡山県建設労働組合苦田支部
 ももの会ボランティアグループ

高梁給食ボランティアの会(1北 内山下)
 高倉配食組合
 はやしま朗読ボランティア福来團
 パソボラはやしま
 日曜大工ボランティアとんかち

東山 和子 池田 美誉子
 藤井 守 延藤 壽子
 内海 義郎 安部 由枝
 門田 好美

TEL 086-2226-3507

【問い合わせ先】

岡山県福祉人材センター

◎費用：無料

※用紙はホームページからダウンロードできます。

◎予約方法：所定の用紙をファックスで送信

※対象：福祉・介護サービス事業を実施している法人、事業所

◎対象：福祉・介護サービス事業を実施している法人、事業所

◎内容：ご希望の講座、個別相談

◎日時：月2回程度

人材定着力向上出張講座

◎費用：無料

※来所の場合は電話予約必須。

◎相談方法：電話、来所にて

◎日時：毎月第2・4木曜日 午後1時～午後4時

仕事の悩み何でも相談

岡山県福祉人材センターでは、福祉・介護職に就く職員の方の働きがいを支えるため、電話・来所による何でも相談、出張講座を開催しています。お気軽にお問い合わせください。

電話・来所相談
出張講座のお知らせ

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください!



労務管理で困っている

- ・就業規則の見直し
- ・人材育成
- ・人材定着
- ・助成金の活用
- ・セミナー講師
- ・業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人 ☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子
〒706-0024 玉野市御崎 2-3-13

あい社会保険労務士法人 検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中!
メルマガはHPから申し込みください。

平成28年度 岡山県総合社会福祉大会 開催報告

去る10月12日（水）、岡山市民会館にて、平成28年度岡山県総合社会福祉大会が開催されました。当日は、多年にわたり社会福祉の向上に尽くされた方々に対し、岡山県や岡山県社協をはじめとする福祉団体より感謝の意を表するため、表彰式典が行われました。式典では、受賞者総勢468名・81団体のうち、各表彰の受賞代表者に対し、表彰状と記念品が授与されました。



県社協会長より表彰状を授与

また、特別講演では、タレントの荒木由美子さんをお招きし、『私の介護く愛と感動の家族物語』と題して、ご講演をいただきました。荒木さんは、家族の絆の大切さを自らの介護経験をもとに、お話されました。なお、岡山県社協会長表彰並びに、感謝の受賞者は、8ページのとおりです。受賞者の皆様、おめでとうございます。



荒木由美子さんによる特別講演

60歳以上の方々を対象とした「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」が今年10月15日から18日までの4日間、長崎県の12市3町で開催されました。岡山県からは143名の選手が参加し、14日（金）に岡山駅南地下通路広場で岡山市選手団と合同の結団壮行式を行った後、長崎県に出発しました。

第29回 全国健康福祉祭ながさき大会 「ねんりんピック長崎2016」が開催

15日（土）には、諫早市の長崎県立総合運動公園陸上競技場で総合開会式が行われ、16日（日）からは、種目ごとの会場地で交流試合が行われました。岡山県からは21種目に23チームの選手が出場し、6種目で3位以内に入賞し、7種目で16位以内に入賞しました。来年度は秋田県で開催されます。



総合開会式 入場行進の様子

岡山県選手団の表彰種目と成績

種目	主な成績	
マラソン	2位	70歳以上10km女子の部
ソフトバレーボール	3位	第1位グループ第1ブロック
サッカー	準優勝	第2位グループKブロック
水泳	3位	自由形80歳以上女子25mの部
ターゲット・バードゴルフ	優勝	女子グランドシニアの部
	準優勝	女子シニアの部
将棋	優勝	子々川ブロック
	3位	西時津ブロック

現場からの発信

じいちゃん・ばあちゃん・子どもたち みんなの居場所

「じ・ば・子のおうち」

近年、少子高齢化や核家族化が進み、地域とのつながりが希薄化してきており、異世代で交流する機会も少なくなっています。

今月号では、津山市城東地区にある「空き家」を利用した高齢者と子どもたちの居場所「じ・ば・子のおうち」を運営している つやまNPO支援センター事務局長の村上さん、地域運営委員の中川さん、民生委員の多木さん、津山市地域包括支援センター（以下、津山市包括）の渡邊さん、美作大学の学生さんにお話を伺いました。

「じ・ば・子のおうち」ができるまで

東北の大震災以来、昔ながらのつながりや優しさ、思いやりが新しい価値観として見直されてきました。表舞台に出る機会がない高齢者はそういう昔ながらの大切な物（文化）を自然に持っている。それを再発信したくて「じいちゃん、ばあちゃん、子ども」という一つの寄合として平成22年に「じいちゃん・ばあちゃん・子どもたち みんなの文化祭」（通称「じ・ば・子の文化祭」）を始めました。

「父ちゃん、母ちゃん」はあえて入れず、高齢者と子どもの間で流れるゆっくりとした時間に意味を見いだし、それを地域の新しい

価値として伝えていきたいと思いました。

それから、平成24年までは年1回のイベントとして開催してきましたが、年1回では成果が上がらないとの反省から、常設の拠点を作って開催していくことになりました。幸いにも「空き家」を近所のお寺（千光寺）からお借りすることができ、地域の方々、津山市、美作大学、津山市社会福祉協議会、津山市包括、つやまNPO支援センターの協力のもと1年間かけて修理・清掃を行い平成26年4月に「じ・ば・子のおうち」がオープン

しました。

活動内容について

毎月2回 午前10時から12時に「子どもの居場所事業」を行っています。節分や七草粥、クリスマスといった季節の行事のほか、夏にはお泊り会、秋には運動会や文化祭も開催しています。また、毎月1回「高齢者のヨガ教室」「高齢者の健康講座」も行っています。その他、活動内容や次回の予定を紹介した「じ・ば・子のおうち通信」を毎月町内全戸に配布しています。



オープンした時の「じ・ば・子のおうち」



運動会の様子

参加者・運営協力者の声

参加者 小学4年生

「ここへは、オープンした時から家が近くでよく遊びに来ています。外で走って遊んだり、家の中で押入れに入ったり、碁石をしたりしています。一番面白かったことは、色々な人と遊べたことです。」

運営協力者 美作大学3回生

「大学内では授業しかできないけれど、『じ・ば・子』に来ることで実際に地域に出て高齢者や子どもと関わるのができ、実践的なことを学べるのが大きい。高齢者や子どもたちと関わるのは楽しいし、仲良くなれて、色んな活動ができます。」

取り組みの課題と新たな動き
子ども委員会の立ち上げ

子どもの参加者は増えている一方で、高齢者の参加が思わしくありません。地域的な問題もあり、ここが坂だから上るのがきついの声もあります。

そんな中で、昨年から新たな取り組みとして「子ども委員会」を立ち上げようとしています。「高齢者を尊敬できる子どもに」そんな思いも含まれています。

子どもたちの地域や高齢者についての理解促進や、イベント企画の企画、イベント時の高齢者への声かけなどができればと考えています。一緒に時間を持つことで、顔と名前が一致して、用事がなくても「元気にしているかな」と気にかけるような会話ができる関係性が理想です。

また、子どもたちが中学生、高校生になっても地域とつながっていくことが大事です。この場所を通じて地域に愛着を持った子どもになってもらいたいです。



お話を伺った(左から)渡邊さん、美作大学の学生さん、村上さん、中川さん、民生委員 多木さん

問い合わせ先

つやまNPO支援センター

TEL 0868-3210188

平成28年度 社会福祉施設 総合損害補償

インターネットで保険料試算できます

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の 事故・紛争円満解決のために!

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞)

補償金額		年額保険料(掛金)	
	基本補償(A型)	定員	基本補償(A型)
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	1~50名	35,000~61,460円
対物賠償(1事故)	2,000万円	51~100名	68,270~97,000円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	以降1名~10名増ごと	1,500円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円		
人格権侵害(期間中)	1,000万円		
身体・財物の毀損を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円		
事故対応特別費用(期間中)	500万円		
被害者対応費用(1名につき)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)		
侵害見舞費用	死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円		

◆28年度新設 使用者賠償責任補償(プラン3-①オプション)
社会福祉法人役員の賠償責任補償(プラン4)

◆この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
 保険会社 TEL: 03(3593)6824
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

